ハーモニカのボランティアさんが来ました

昔懐かしい曲を７曲ハーモニカで演奏してくれました。演奏以外にも物まねということで、鶏が卵を産むときの鳴き声など、動物の特別な鳴き声や面白い鳴き声を披露してくれました。また、「同期の桜」を飛び入れで演奏してくれましたが、利用者さんも一緒になって大きな声で歌って、再度のリクエストに２回も歌われました。演奏が終わってから、演奏してくれたボランティアの方々も、一緒になり休憩をして話が弾んでいました。

S・S みらい新聞

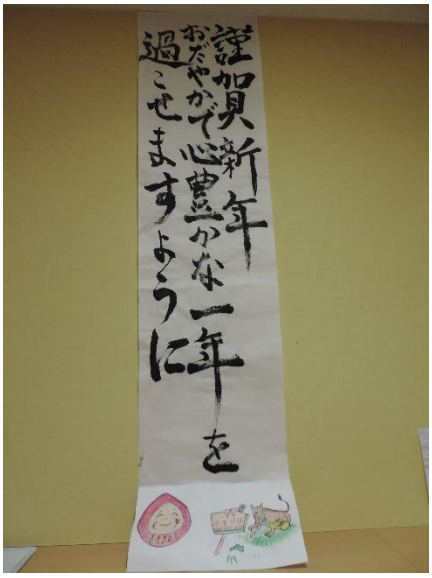
第 65 号
2019 年 1 月
発行責任者
新津　尚

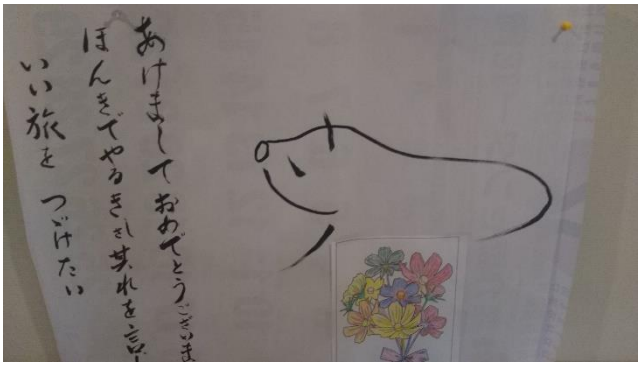
七草粥を頂きました

七草がゆは、中国の唐の楚国に大しうという親孝行者がいて、100 歳の両親をみて「その老いを私に移して両親を若返らせて下さい」と帝釈天に頼んだところ、年齢 8000 年の白鷺鳥（しらさぎ）の秘術を教えてくれることになりました。

その秘術というのが、毎年春の初めに七種の草を食べなさい。1 月 6 日までに 7 種類の草を集めておくこと。東から清水を汲んできてこれを煮て食べる事。ということでした。1 口で 10 歳 7 口で 70 歳若返ると言われた七草がゆの発祥です。皆さん若返りましたか？

お正月の書初め





とても素晴らしい作品が出てきました。
こうした作品が書けることが、認知症予防にもなりいいですね。